

プラスチックリサイクル・ビレッジ

輸出廃プラ高品質に

6社が参加装置を共同提案

廃プラスチック処理機メーカー各社が共同で、高品質な廃プラの輸出に向けた機械提案を強化する。プラスチックの破砕機、圧縮機、減容機などのメーカーや廃プラ専門商社が集い、「プラスチックリサイクル・ビレッジ」として結集。情報共有や意見交換を行いながら、需要に合致した新製品開発につなげている。

あす26日から東京ビッグサイトで開催される展示会「NEW環境展2015」でも、廃プラ専門商社であるパナ・ケミカルのブースに共同出展し、来場者に総合的な提案を行う。

定レベルの機能を持たせた処理機を開発した。産廃業者や廃プラ排出業者

に提案していく。同コンソーシアムの設立は2年前だが、徐々に

参加メンバーを拡充するとともに、昨年はマークも策定。今年のNEW環境展では初めて大々的に「プラスチックリサイクル・ビレッジ」としてアピールする。来場者は1つのブースで商社および機械メーカーと同時に商談でき、利便性が高い。同コンソーシアムは工業種1社を基本とするが、今後もメンバーを増やしていく考えで、破袋機メーカーなどの参加を想定している。

環境展に出展しアピール

プラスチックリサイクル・ビレッジの参加メンバーはパナ・ケミカルのほか、圧縮機メーカーのサンモア、システムエンジニアリングを行うテクノリンクス、破砕機の日本シーム、ポリオレフィンの減容機を取り扱う名濃および発泡スチロール減容機の山本製作所の6社。発泡スチロール協会も協賛する。従来、廃プラは国内向けにも一

内向けは容器包装リサイクル法に対応するため徹底洗浄した高品質なものが流通する一方、輸出向けは場合によっては汚れが付着したまま出荷されるような状況だった。しかし、中国でも環境規制が強化されたほか、昨年後半からの原油価格下落によるバーシン樹脂価格の低下などにより、従来型の廃プラ輸出は難しくなっている。そのため、輸出用廃プラ向けにも一



プラスチックリサイクル・ビレッジのマーク